



上田西部地域協議会だより

平成 27 年 3 月 31 日発行

発 行：上田西部地域協議会
(事務局) 市民参加・協働推進課
電 話：75-2230 (直通)
印 刷：一喜堂印刷 35-2624

ごあいさつ

新生上田市の発足により平成 18 年度に誕生しました上田西部地域協議会は、協議開始から 9 年が経とうとしております。地域協議会は、地方自治法の規定に基づき市の附属機関として、市内の 9 地域に設置され、地域住民等の意見や要望を集約して行政に反映させたり、地域の重要事項の決定に意見を述べたりする役割を担っています。また、地域の個性や特性を生かした地域力が発揮されるまちを目指して、これまで調査研究を重ねてまいりました。



平成 26 年度 (第 5 期の 1 年目) は、地域住民の皆様や団体が主体的に取り組む事業を補助金によって支援する「わがまち魅力アップ応援事業」の審査の他、平成 28 年度からの市の将来ビジョンの基本となる第二次上田市総合計画の「西部地域の特性と発展の方向性」について諮問を受け、地域協議会としての意見を取りまとめ、この 3 月 27 日に市へ答申を行いました。

このほか、上田西部地域協議会では、今期の具体的な活動として、三つの分科会を設置して地域課題の掘り起こしを行うなど調査研究を進めております。第一分科会では、「地域防災力を生かし、安全で快適なまちづくり」について、第二分科会では、「将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり」について、第三分科会では、「地域が一体となり高齢者や障がい者を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり」についてそれぞれテーマを設定し、協議しております。

引き続き、西部地域内の課題解決や地域活性化に向け、地域協議会としての活動に邁進してまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会 長 高 橋 守

上田西部地域協議会への諮問がありました



諮問の様子 (於：西部公民館)

平成 27 年 1 月 28 日、第二次上田市総合計画の策定に当たり、地域の特性や地域の発展の方向性を定めるための、諮問が上田市からありました。

地域協議会において、検討を進め 3 月 27 日に市長へ答申を行いました。答申に関する詳しい内容は、2 ページに記載のとおりです。地域のまちづくりの基本的な方向性を市の総合計画へ位置付けるため、協議を行ってまいりました。



第一次上田市総合計画における「地域まちづくり方針」



第二次上田市総合計画における「地域の特性と発展の方向性」

答申の内容

第一次上田市総合計画（上段写真）は平成 20 年度から 27 年度までの計画です。現在、平成 28 年度からスタートする第二次上田市総合計画を策定中ですが、現行の地域まちづくり方針を「地域の特性と発展の方向性」として見直し、総合計画の本編に掲載の予定です。地域の皆さんと市が、役割分担と協働で地域のまちづくりを進めるために共有する認識として位置付けます。

地域の特性と発展の方向性

上田西部地域 ■地域の特性

- 1 太郎山山系から千曲川まで広がる地域で、中央部を国道 18 号としの鉄道及び新幹線が通過
- 2 旧北国街道沿いは歴史的建造物が今も残る閑静な住宅地
- 3 優良農地の一部集積や大規模な工場が見られるが近年空地化や荒廃化が進行中
- 4 卸卸地等の商業・業務施設が数は減少傾向にあるが存在し、国道沿い等には商業施設が進出
- 5 小上地域の医療の中核を担う信州上田医療センターが所在する地域
- 6 地域全体の高齢化が進行している地域

■発展の方向性

「まちづくりの基本的方向性」

- 1 歴史的、文化的資源を保全しながら、恵まれた環境を生かすとともに、商業機能などを活用して、賑わいを創出するまちづくりを目指します。
- 2 太郎山や千曲川、農地などと調和した落ち着いた生活環境のなかで、住民が健康で元氣なまちづくりを目指します。
- 3 地域の利便性向上のために、安全な交通環境の整備を進め、子どもや高齢者が安心して、快適に暮らせる希望の持てるまちづくりを目指します。

「取り組みの方向性」

取り組みの内容	視点・要素
1 コミュニティ活動拠点の整備と住民主体のまちづくりの推進	・生涯学習をはじめ、世代間の交流、子育て支援の場としての機能の整備・充実や、地域防災拠点施設の併設についても検討し、西部公民館の連携に向けた取組 ・西部公民館を拠点として地域住民が主体となったまちづくりを進めるため、自治会、各種団体や地域協議会などの連携と行政との協働を推進し、さまざまな課題の解決やまちづくりのあり方を協議・検討 ・公民館等を活用した自由なコミュニティ活動の場の確保と活動の推進
2 歴史的遺産等の積極的な活用による地域の振興	・地域資源の調査を行い、必要なものの保全を図るとともに、観光資源につなげていくなどの利用を推進 ・地域の伝統文化や昔から伝わる行事の継承を推進
3 地域が誇れる自然環境の保全、整備と有効活用	・矢出沢川沿いの遊歩道、公園、北国街道、歴史の散歩道、山城などを生かしたトレッキングコースを設定し、新たな観光資源の創出や健康づくりへ活用 ・山林、里山や水辺環境、公園・緑地など、自然とのふれあいの場を整備し、自然との共生と自然を生かした地域の活性化
4 地域防災力を生かし、安全安心で快適なまちづくり	・地域・行政などとの連携により「地域防災力」を高め、誰もが声をかけあい「温かいまなざし」が深まる地域として、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進 ・「あいさつ」の飛び交う地域づくりを進めるとともに、住民参加による花づくりや緑化、幹線道路の洪水対策や周辺道路の安全対策、また、きれいな水と空気など、より良好な地域生活環境を形成 ・歩道と車道を区分し、通学路の安全や高齢者の外出を促進しやすい地域に向けての環境づくり ・地域の防災機能と災害対策の整備・強化
5 多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり	・子どもが自然に親しめる広場・公園を整備し、自然に親しみ、郷土の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りを持つ子どもたちを育成 ・学校と地域が連携し、地域ならではの行事への参加や伝承を通じて、地域ぐるみで子どもの郷土理解と育成を推進 ・「地域子育て力」を高め、子どもたちの明るく元氣な声がまち全体に響き渡り、子どもたちがたくましく生きるまちづくり
6 世代間交流が活発に行われ、コミュニティの確立を目指すまちづくり	・学習会・講演会やスポーツ、遊びなどを通じ、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流を深め、住民自治の推進及び「地域連帯力」の向上とコミュニティの活性化 ・少子高齢化・人口減少を見据えていくなかで、自治会を超えた地域間の協力・連携を推進
7 地域が一体となり高齢者や障がい者を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり	・自治会をはじめNPOやボランティア団体などを核として、住民と地域の医療機関等との協働により更なる福祉活動を展開 ・高齢者や障がい者を地域全体で支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり ・ボランティア活動を周知し、地域住民の潜在的な力を発揮してもらう仕組みづくり
8 地域の特色を活かした産業の振興	・地域に根ざした伝統工芸や地産産業の振興や商工業の発展と高齢者、障がい者等弱者への支援を視野に、日常生活に必要な地元商店の振興 ・農地の有効活用を進め、地産地消を推進し、行政、生産者や各種団体が協力し合い、農業生産活動を地域ぐるみで促進

※市の総合計画については、地方自治法の改正により、法的な策定義務はなくなっていますが、上田市では「自治基本条例」第 21 条の「市は、総合的かつ計画的にまちづくりを行うため、総合計画を策定し、その実現を図ります。」との規定に基づき策定するものです。

協議会の活動状況

第5期の上田西部地域協議会の活動も4月で折り返しの2年目に入ります。現在、上田西部地域管内での課題の解決に向けて3つの分科会を設置して調査研究、話し合いを行っています。必要と思われる対策については、市へ提言してまいります。これまで地域協議会で検討し市に提言した意見書について報告します。



平成26年度上田西部地域協議会での協議の様子



上田西部地域協議会から市へ提出した意見書の概要 (H18～H26)

年度	提出日	意見内容
H19	H20.3.3	歴史的遺産の継承と積極的な活用による地域の振興について
		西部地域にトレッキングコースの整備について
		西部地域内の公園管理及び塩尻地区公園構想の推進について
		放課後児童対策について
		地域医療について「地域医療の目的は市民の幸せにあり」
H21	H22.2.2	北国街道を保全活用したまちづくりに関する提言
		まちづくり活動支援体制の強化と活動拠点施設の整備について
		高齢化社会への対応について
H23	H23.12.15	地域が主体となったまちづくり推進のため、西部公民館をコミュニティ活動拠点として早期建替え整備することについて
H25	H25.1.31	放課後児童対策について

地域の話題

西部公民館の建て替えについて

西部公民館は、建築から36年が経過し、施設の老朽化が進み、また利用者数の増加によって手狭となっており、地域の皆様からも早期建替えのご要望をいただいていることから、上田警察署跡地に公民館施設を整備することとし、この3月定例市議会において平成27年度予算に設計業務委託料と用地購入費を計上することが議決されました。本事業は地域の新たな社会教育施設やまちづくりの拠点として、27年度から3か年計画で、28年度に建築、29年度に外構工事を実施していく予定です。

今後、公民館だよりやホームページ等を通じて、施設の概要や進捗状況をお伝えしながら、自治会をはじめ地域の皆様から、ご意見やご要望をお寄せいただく機会を設けていく予定をしています。

引き続き、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



上田警察署跡地の現在の状況

わがまち魅力アップ応援事業の実施状況について

平成 20 年度からスタートしました「わがまち魅力アップ応援事業」は、まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する自主的・主体的な取組について市が支援する事業です。平成 26 年度は、上田西部地域管内で 4 件の応募があり、4 件が採択となりました。

今年度実施された地域づくり活動をご紹介します。



東山道「日理駅」保存会による講演会



丸山邸で開催された軽トラ市の様子

平成 26 年度に西部地域で実施された「わがまち魅力アップ応援事業」の紹介

事業名	団体名	年目
太郎山山系の山城を探訪し、併せて縦走路整備により楽しく、里山のよさを知ってもらう事業	太郎山山系を楽しくつくる会	4
西部塩尻地区で、ペタンクを通して、全ての地域住民の交流親睦を図ろう！	西部ペタンク同好会	4
歴史遺産を活用し、地域の活性化を目指す事業	東山道「日理駅」保存会	2
西部地域軽トラ市等推進事業	西部地域軽トラ市推進委員会	1

上田西部地域協議会委員名簿（任期：平成 28 年 3 月 31 日）

氏名	自治会名		氏名	自治会名	
1 涼 勉	生 塚		11 田 畑 冴 子	緑が丘西	
2 石 塚 佳菜子	新 屋		12 田 畑 裕 康	緑が丘西	
3 市 村 貴 晴	新 屋		13 馬 場 文 枝	上 塩 尻	
4 小 市 武 志	新 屋		14 濱 村 美智子	諏 訪 部	
5 小宮山 アサジ	城 北		15 堀 内 吉 孝	秋 和	
6 塩野崎 利 英	下 塩 尻		16 増 田 由喜子	城 北	副会長
7 渋谷 友 紀	緑が丘北		17 宮 下 和 夫	下 塩 尻	
8 清 水 文 彦	下 塩 尻		18 母 袋 祐 子	下 塩 尻	
9 関 口 幸 男	緑 が 丘		19 山 崎 順 子	上 塩 尻	
10 高 橋 守	緑が丘西	会 長	20 湯 田 勝 己	秋 和	

皆さんの意見を募集しています。

◆地域の課題や上田西部地域協議会、今回発行した地域協議会だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。

いただきましたご意見は、上田西部地域協議会の中で、地域の声として協議・検討してまいります。

【問合わせ先】 西部公民館（電話 27-7544 FAX27-7522）

市役所 市民参加・協働推進課（電話 75-2230 FAX22-4130）